

授業

学年等		項目
令和 2 年度 第 4 学 年	令和 2 年 11 月	学習に関する児童の実態・課題
		教科で身に付けさせたい資質・能力
		具体的な授業改善の方策
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題
令和 3 年度 第 5 学 年	令和 3 年 11 月	学習に関する児童の実態・課題
		教科で身に付けさせたい資質・能力
		具体的な授業改善の方策
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題
令和 4 年度 第 6 学 年	令和 4 年 11 月	学習に関する児童の実態・課題
		教科で身に付けさせたい資質・能力
		具体的な授業改善の方策
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項

改善推進中期プラン 算数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立中神小学校

内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算の筆算が苦手な児童が多い。 ・文章問題を読み取ることが難しく、立式できずにいる児童が見られる。 ・問題の内容を数直線図に書き表すことが苦手な児童がいる。 ・コンパスや三角定規などの算数の道具の使い方が定着しておらず、作図が苦手な児童がいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題では問題の意味を理解し、数直線図に表し、問題を解く力。 ・難しい問題でも、既習事項を生かして解決していこうとする力。 ・基礎的な算数用語を身に付け、四則計算や作図等の基本的な技能を身に付ける力。
<ul style="list-style-type: none"> ・板書の仕方などを引き続き工夫する。 ・文の相互関係を常に意識するように継続して指導する。また、文章問題の内容を理解しやすくするためにテープ図をかかせる等の工夫を行っていく。 ・常に基本に立ち返り、指導していく。また、朝自習などの時間を利用し、基礎・基本の定着を図る。 ・算数3分チャレンジ等の活用を行い、基礎的な計算力を身に付ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・板書の仕方などを引き続き工夫することによって児童に理解を促すことができた。 ・文の相互関係を常に意識するように継続して指導した。また、文章問題の内容を理解しやすくするためにテープ図をかかせる等の工夫を行った結果、児童の理解を促すことができた。 ・常に基本に立ち返り、指導していく。また、朝自習などの時間を利用し、基礎・基本の定着を図るように努めた。 ・算数3分チャレンジ等の活用を行い、基礎的な計算力が身に付いてきた。
<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の筆算が苦手な児童が多い。 ・既習事項を生かし、知識を繋げることができずにいる児童が見られる。 ・文章題を読み取ることが難しく、立式できずにいる児童が多い。 ・単元で学んだことを類似の問題で演習すると知識の定着が見られる。
<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の意味を理解して立式する力。 ・思考を問題で、既習事項を生かして自分の考えを表現する力 ・基礎的な算数用語を身に付け、四則計算や作図等の基本的な技能を身に付ける力。
<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の内容を理解しやすくするために図を用いて説明する。 ・文章問題と式を結び付けられるよう色分けして分かりやすくする。 ・算数3分チャレンジ等の活用を行い、基礎的な計算力を身に付ける。 ・関連する計算方法や算数用語はその都度確認しながら進める。
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算を授業や宿題で繰り返し行い、児童に理解を促すことができた。 ・文章問題で問われていることは何かを整理して問題に取り組ませる工夫ができた。 ・3分チャレンジの積み重ねにより、基礎的な計算力が身に付いてきた。 ・計算問題を様々な問題に応用して問題を解くことが難しい児童が多い。 ・文章問題で何が問われているのかを考え、公式に当てはめたり、式にして表したりすることに課題が残る。
<ul style="list-style-type: none"> ・小数や分数の基本的な計算を理解できていない児童がいる。 ・図や表を用いて立式をしようとする児童が増えてきている。 ・文章題の問題の意味を読みとることに課題がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・小数や分数の四則計算の基本的な知識や技能を定着させる。 ・図を活用して解法を考え、立式することができる。 ・課題の中から必要な情報を取り出して、問われていることに適切に答える力。
<ul style="list-style-type: none"> ・3分チャレンジやベーシックドリルを活用し、個人の苦手箇所を理解させた上で習熟を図る。 ・基本的な数直線を日常的に使用し、文章題を解かせるようにする。また、図についても評価する。 ・必要な情報を抜き出したリ、アンダーラインを引くなどしてポイントを押さえられるように声をかける。